UTILITY MODEL ABSTRACT

(11) Publication number: 61-196908
(43) Date of Publication of application: 01.09.1986
(51) Int.CI. A47F 3/00
(21) Application number: 60-39203
(22) Date of filing: 28.02.1985
(71) Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
(72) Inventor: Minoru TODA, Tetsuo KOIKE, Toshio HIROOKA
(54) Title: Explanation Device For Printed Matter And The Like

(57) Abstract

An explanation device for printed matter and the like, comprising:

a holding part having a U-shaped groove to hold items such as printed matter; a sensor for retrieving items having a curved surface at a part in contact with said items at the bottom of the U-shaped groove of said holding part; and a voice synthesizer for explaining, advertising, or instructing cautions about said items by detecting an output signal from said sensor for retrieving items.

⑲日本国特許庁（JP）　⑪特許出願公開

⑫公開特許公報（A）　昭61－196908

⑤Int.Cl.⁴	識別記号	庁内整理番号	㊸公開
A 47 F 3/00		6850－3B	昭和61年(1986)9月1日

審査請求　未請求　発明の数 1　（全5頁）

㊹発明の名称　印刷物などの説明装置

㉑特　願　昭60－39203
㉒出　願　昭60(1985)2月28日

㉒発明者　戸田　実　門真市大字門真1006番地　松下電器産業株式会社内
㉒発明者　小池　哲夫　門真市大字門真1006番地　松下電器産業株式会社内
㉒発明者　広岡　俊生　門真市大字門真1006番地　松下電器産業株式会社内
㉑出願人　松下電器産業株式会社　門真市大字門真1006番地
㉔代理人　弁理士　中尾　敏男　外1名

明　細　書

1、発明の名称

印刷物などの説明装置

2、特許請求の範囲

(1)　U字状の溝部を有し、この溝部にて印刷物などの物品を保持するための保持部と、前記保持部のU字状溝部の底部に、前記物品当接部分に曲面を有する物品取出しセンサと、前記取出しセンサの出力信号を検出して前記物品についての説明もしくは案内広告，宣伝，注意などを音声でする音声合成装置とを有する印刷物などの説明装置。

(2)　物品取出しセンサの物品当接部分が半円柱状をなし、保持部のU字状溝部と直交する配置されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の印刷物などの説明装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は印刷物などの説明装置、特に印刷物やレコードといった物品をその保持部から取出したときに、その取出しを検知して、取出物の案内やそれについての簡単な説明や広告，宣伝，注意を音声でする装置に関するものである。

従来の技術

印刷物たとえばメニュー、案内書、またはレコードといった物品の簡単な説明や広告，宣伝，注意をする場合、それらを所定の保持部に入れておき、印刷物によって説明するというのが、これまで一般に使用されている説明装置である。

発明が解決しようとする問題点

このような装置ではメニューや案内書を取出して読まないと、その内容がわからず、またレコードなどについてもジャケットなどを読まないとやはりその内容がわからない。

本発明は上述のような問題点を解決し、メニュー、案内書、レコードなどを保持部にて支持しておき、この保持部からの取出しの際に、それについての内容説明または案内，広告，宣伝，注意を音声でする装置を提供しようとするものである。

問題点を解決するための手段

本発明にかかる装置は、保持部内の物品の取出

しを取出しセンサで検出し、取出されるメニュ、案内書またはレコードなどについての内容説明、あるいはその案内、広告、宣伝、注意を音成合成装置により自動的に音声で行なうものである。

作　用

物品の保持部から前記物品を取出す際、それについての内容説明または案内を音声で行うことにより、メニュや案内書、レコードなどについての内容が取出した者に容易に理解され、頒布の効果が高められる。また、装置が取出し時に音声を発するので、人の注意をより強く喚起する。

実施例

以下、本発明の案内装置について、その実施例にもとづいて説明する。

第１図～第４図は本発明装置の一実施例であるホテル案内装置について説明するための図である。第１図はこの実施例の外観を示す斜視図、第２図はその断面図、第３図はパンフレット取出しセンサ部の断面図、第４図はこの実施例の回路構成を示すブロック図である。

第１図において、１は本体ケースで、一角が直角の台形の箱になっており、直角に交わる二面を前面２と底面３とし、底面３は上面４よりも広く構成されるため背面５は斜面をなしている。これは底面３を上面４より広くし背面５を斜めに傾けることによって、パンフレットを収納している状態でも、本体ケース１が背面方向に倒れるのを防ぐ構造になっている。６はパンフレット保持部で、本体ケース１の前面側に断面Ｕ字型の溝部が構成されている。これはパンフレットを挿入する際、上面方向および側面方向の挿入を容易にするための構造になっている。また、パンフレットをどの角度から挿入しても定位置になるよう、溝の底を断面半円状の形状に構成され、すなわち全体としてＵ字状の溝部を有している。また、本体ケース１とパンフレット保持部６とは一体的に形成され、前面部７は平面になっている。そして、パンフレット保持部６の前面平面部７の前面板は半透明になっていて、パンフレットとしての視覚による案内も損われないようになっており、美観処理もなされている。８は、ゴムなどのすべりにくい材質を使った足であり、本装置の設置の際、安定した設置ができることと、本装置の下面に配置されたスピーカより音声を周囲に広げるため、設置場所の表面と本装置下面との間をあけるスペーサとしての役目も果している。

第２図において、９は電池で、本体ケース１の底部背面側に配置することによって、大きいパンフレットや重量のあるパンフレットを収納した場合でも電池９の重量によって、前面側に倒れないようおもりとしての役目も果しており、本装置の形状からも背面側にも倒れない構造でもあるので、前面側にも背面側にも倒れないバランスの安定したものとなっている。また、音声合成装置及びセンサは、電池９からなる電源部と、集積回路、半導体素子などを実装した印刷回路板１１と、センサ部１２，スピーカ１３とが底板１０に取付けることによって構成されている。

第３図において、１４はスイッチで、パンフレット保持部６でパンフレットを支持させた場合オフに、またそれから取出したときにオンとなる。また、Ｌ字状のスイッチ取付板１５によりねじ止めなどの手段によって底板１０に固定されている。１６はスイッチアームで、スイッチ１４から平面状の平板が突出している。１７は取出しセンサーヘッドで、円柱の断面を半円状にしたもので、スイッチアーム１６とを接続するように溝が構成されている。１８はセンサーヘッド支持筒体で、円筒状になっており、取出しセンサーヘッド１７の中に埋め込んでいるが、取出しセンサーヘッド17と一体化したものでもよい。１９はセンサーヘッド支持棒で、大小、直径の異なる柱で構成されており、底板１０に固定されている。小さい円柱の直径はセンサーヘッド支持筒１８の内径に合うようになっている。センサーヘッド支持棒１９は取出しセンサーヘッド１７が上下運のみを行うよう設けられており、取出しセンサーヘッド１７がさがり過ぎ、スイッチ１４が破損するということを防止するストッパーの役目も果している。

パンフレットが取り出される前の状態において

は、取出しセンサーヘッド１７はパンフレットの重量により下方へ押し下げられており、またこれに接触しているスイッチアーム１６も下方へ押し下げられて、スイッチ１４がオフ状態となっている。ここでパンフレットが引き出されると取出しセンサーヘッド１７にパンフレットの重量が加わらなくなるため、取出しセンサーヘッド１７は上方に突出し、それと連動してスイッチ１４もオンの状態になる。ここで取出しセンサーヘッド１７のパンフレットに接触する部分は、前記パンフレットを側面方向から保持部６に入れる際にひっかかることがないよう、半円柱状または半球面状などの曲面部を有している。

ここでパンフレット保持部６の形状をＵ字型にして下部を半円状にし、取出しセンサーヘッド17をパンフレットに接触する部分に半円柱状の表面を持たせる構造とするとともに、保持部６と取出しセンサーヘッド１７とが直角に交わらすよう配置することによりパンフレットを側方からの挿入を可能にし、なおかつパンフレット薄くても取出しセンサーヘッド１７にパンフレットが当り正常に動作して誤動作するおそれがない。

以上のような構造により、パンフレットが取り出されると、スイッチ１４がオンの状態となりこの信号が導体を通じて、音声合成装置に送られ、これを起動せしめ、音声が発生される。

第４図は上述のような内容や案内、宣伝をするための回路構成の一例を示している。

図において２０は取出しセンサー、２１は入力回路、２２はスイッチング回路、２３は記憶装置（ＲＯＭ）で、音声情報と制御のための情報を記憶している。２４は中央演算処理装置（ＣＰＵ）、２５はインターフェース、２６は音声増幅回路である。

まず初めの状態では、スイッチング回路２２はオフの状態にあり、ＲＯＭ２３やＣＰＵ２４、インターフェース２５、音声増幅回路２６には給電されない。パンフレットを取出そうとすると、第３図１７の取出しセンサーヘッドが突出しスイッチ１４がオンとなる。すなわち取出しセンサーより出力信号が発声する、入力回路２２はその出力信号があったことを検出してスイッチング回路22をオン状態とし、電源２８よりＲＯＭ２３やＣＰＵ２４、インターフェース２５、音声増幅回路２６に電力を供給させる一方、ＣＰＵ２４の入力端子に出力信号を供給する。ＣＰＵ２４は、それにもとづいて、インターフェース２５を介して、ROM２３よりデータを読出し、そのデータを処理して音声信号を合成する。そして、合成音声信号を音声増幅回路２６に供給する。音声信号はこの音声増幅回路２６で増幅されてスピーカ２７に印加され、パンフレットを取出した人に案内や宣伝を音声でする。音声情報が所定回数だけ音声として合成処理されたのち、インターフェース２５はスイッチング回路２２をオフの状態に復帰させ、装置全体を待機状態とする。

このような装置を、ホテルや旅館といった宿泊施設では、館内の非常口、その他設備などを記載したパンフレットの保持に使用し、このパンフレットを取出したときに緊急時における宿泊客の誘導径路を音声で説明するようにすれば、宿泊客に非常口の場所などを徹底することができる。

発明の効果

以上説明したように、本発明の説明装置によれば、案内書やメニューなどの取出しを検出して、内容説明、案内、広告、注意事項を音声合成装置を用いて音声で行なうことができるため、取出した人の内容理解を容易にするだけでなく、周囲の注意をひきつけることができるため、案内、広告、宣伝効果が非常に高められ、かつ注意喚起効果も高められる。

4、図面の簡単な説明

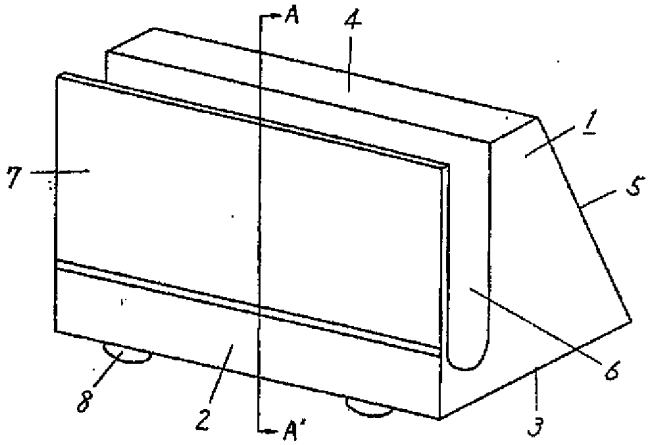
第１図は本発明にかかる説明装置の一実施例の外観を示す斜視図、第２図はその断面図、第３図はその取出しセンサー部の断面図、第４図はこの実施例の回路構成を示すブロック図である。

１……本体ケース、２……前面、３……底面、４……上面、５……背面、６……パンフレット収納部、７……前面板、８……ゴム足、９……電池、１０……底板、１１……プリントボード、１２…

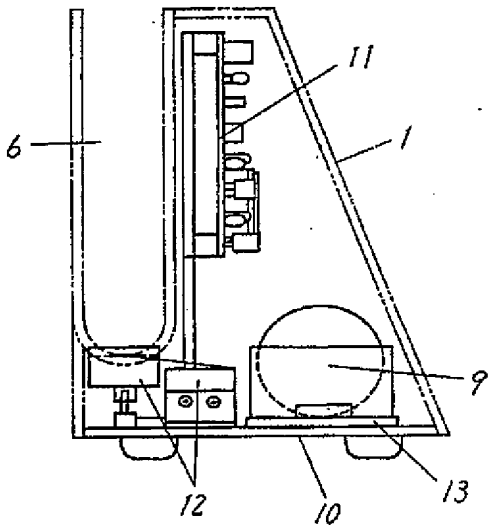
…センサー部、１３……スピーカ、１４……スイッチ、１５……スイッチ取付板、１６……スイッチアーム、１７……取出しセンサーヘッド、１８……センサーヘッド支持筒、１９……センサーヘッド支持棒、２０……取出しセンサー、２１……入力回路、２２……スイッチング回路、２３……中央演算装置、２４……インターフェース、２５……音声増幅回路、２６……スピーカ、２７……電源。

代理人の氏名　弁理士　中　尾　敏　男　ほか１名

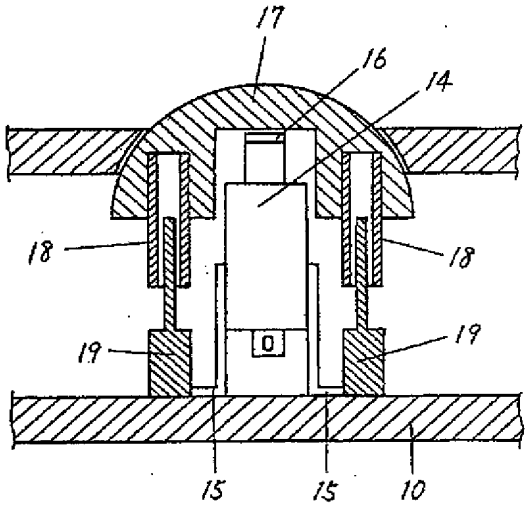
第　1　図



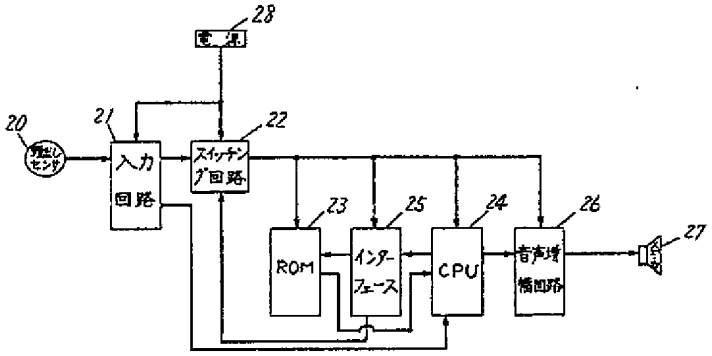
第　2　図



第　3　図



第 4 図


28
20
21
22
入力回路
スイッチング回路
23
25
24
26
27
ROM
インターフェース
CPU
音声増幅回路